

2017 年度 小委員会活動成果報告

(2017 年 12 月 22 日作成)

小委員会名	構造物の振動制御小委員会		主 査 名：山本雅史 就任年月：2017 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 (振動運営委員会)		委員長名：塩原 等 主 査 名：長島一郎
設 置 期 間	2017 年 4 月 ～ 2021 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>建築構造物の振動制御技術を健全に普及させるとともに、日本の技術を国際的に発信する。</p> <p>初年度：2017年大会PDの開催（免震構造小委員会と共同）。</p> <p>2年度：日本の制振技術に関する最新の研究および適用事例を英文でまとめる。制振に関する国際会議(7WCSCM)において各委員により発表を行う。</p> <p>3年度：シンポジウムの開催。 本会新国際英文ジャーナル『JAR』において制振の特集号を企画。</p> <p>4年度：日本の制振技術に関する最新の研究および適用事例を英文でまとめる。第17回世界地震工学会議において各委員により発表を行う。</p>		
委員構成 (委員名(所属))	委員公募の有無：有		
	主査：山本 雅史（竹中工務店） 幹事：栗野 治彦（鹿島建設）、古橋 剛（日本大学） 委員：五十子 幸樹（東北大学）、樫本 信隆（日建設計）、金子 健作（東京工業大学）、小 檜山 雅之（慶応義塾大学）、佐藤 栄児（防災科学技術研究所）、辻 聖晃（京都大 学）、富澤 徹哉（構造計画研究所）、火箱 義文（カヤシステムマシナリー）福喜多 輝（清水 建設）、藤谷 秀雄（神戸大学）、欄木 龍大（大成建設）、吉田 治（大林組）		
設置 WG (WG 名：目的)			
2017年度予算	230,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：	

項 目	自己評価
委員会開催数	4 回（年度内計画を含む）
刊行物 (シンポジウム資料等は除 く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) * 能力開発支援事業委員会 承認企画	
大会研究集会	1. PD：免震・制振技術の現状と将来展望 — 大振幅地震動を見据えて (免震構造小委員会と共同) 参加者数 438名 『構造部門(振動)パネルディスカッション資料：同上』
対外的意見表明・パブ リックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られ た成果との関係)	1. 免震構造小委員会と綿密に大会PDの企画を行い、開催した。大会PDでは現 状の制振技術、制振補強技術の紹介を行うとともに課題を述べ、参加者への 情報提供および参加者の意見収集ができた。 2. 7WCSCMのオーガナイズドセッションを提案し、7WCSCM事務局に採用さ れた。また、委員を中心に発表者を募り23編のアブストラクトを集めた。 3. 『JAR』の編集委員会とのコンタクトを開始した。
委員会活動の問題点 ・課題	1. 若手研究者の育成・啓蒙 2. 他小委員会との協業